

成果指標				
成果指標	大会参加者の便宜とスポーツの振興			
指標設定の考え方	大会参加を容易にし、スポーツの振興を図る			
区分年度	26年度	27年度	28年度	
目標	50	50	50	0
実績	47	46	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	3	B
		市民ニーズへの対応	3	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	3	B
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	3	C
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	大会参加費の一部を助成することにより、スポーツ振興に役立っている。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	3	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	3	B
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	3	C
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	スポーツ・レクリエーション祭やスポーツ少年大会の参加を支援し、生涯スポーツの振興に努めている。事業推進により、スポーツ人口の底辺拡大につなげたい。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断する。
意見、課題	

行政評価委員会の答申

外部評価
(行政評価委員会)

経営者会議の最終判断

事業の方向性

現状のまま継続する。

意見、課題